

琉球大学学術リポジトリ

新聞切り抜き：『大学新聞』

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄, 南洋, 新聞 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38185

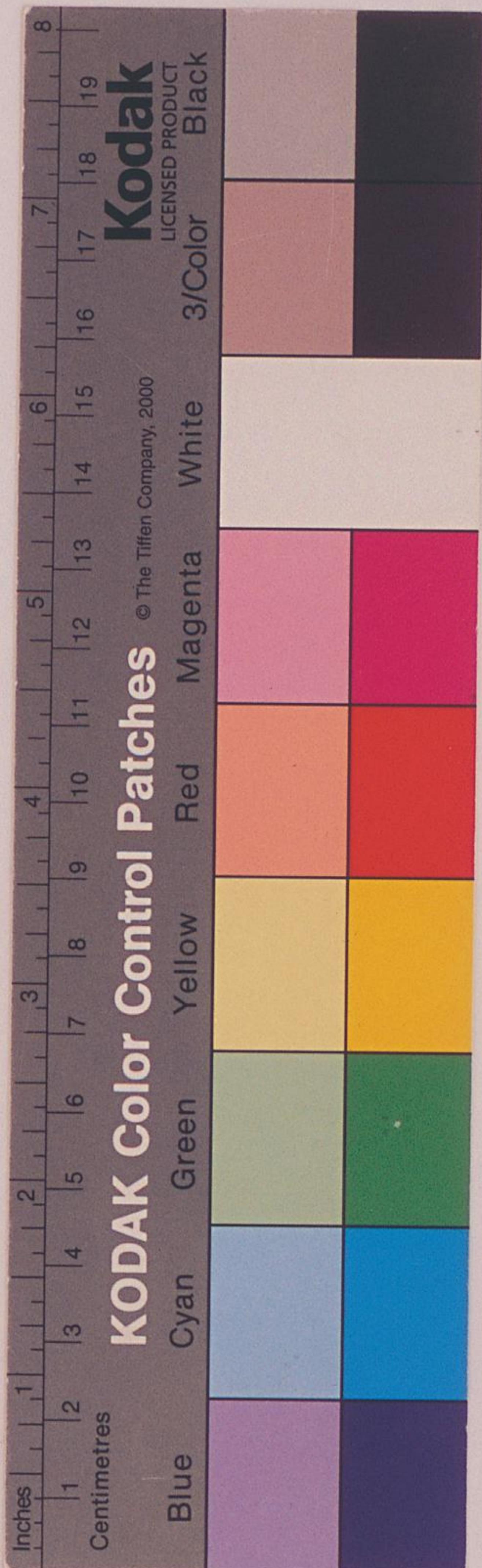
矢内原忠雄文庫

史料名	昭和9年6月12日付『大学新聞』見出し：世界に誇る「熱帯生物研究所」
封筒番号	164
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 /〇 日
撮影者	富士写真フィルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：164

史料名	昭和9年6月12日付『大学新聞』見出し：世界に誇る「熱帯生物研究所」
資料形態	新聞切り抜き
枚 数	1
頁 数	1
縦 (cm)	12.5
横 (cm)	18
厚さ(cm)	
書誌的事項	南洋
	今泉分類記号：P



1 / 10

世界に誇る 熱帶生物研究所

所長に畠井新喜司博士を推し

八月中旬に開所の運び

日本學術振興會の南洋生物研究所内ヨコール島における熱帶生物研究所は、今春創設費一万三千五百余圓を投じて同島水産試験場内の珊瑚地に研究所を開設中であるが、其事に八分通りた八月中旬には開所する運びに至つた。熱帶生物研究所では九月學士院で第十二次小委員会を開き、研究所の正式名稱を定め、本年度研究員二名を選定した。即ち研究所は和文で「バラオ熱帶生物研究所」と云ひ學名で「Parao Biological Station」と稱す。所長として東北帝大教授委員の畠井新喜司博士が選ばれた。本年度研究員として應募者五名中より経費の關係上二名を——東北理學部卒業——と京大講師畠井博士（昭七・京大理學部卒業）が選定されたが、阿部氏の研究項目は「珊瑚虫の習性」、弘氏の研究項目は「珊瑚礁に棲息する動物の種類及びその習性」である。兩氏の研究期間は八ヶ月、研究費として各七百圓が補助され、宿泊所は海軍クラブで宿泊及食事費は一ヶ月三十圓、それに雜費二十圓が支給される事になつてゐる。

喜んで開放 來島者には

畠井博士談

◎今度所長に、推されたバラオ熱島は熱帶地で食物は猛烈に腐敗し易いため酢をすべての食物に入れ防腐作用をもつた内地から行くと大抵三、四日で味くつかれ研究員には毎月二十圓を補助料品購入費として支給する苦

同研究所は海水タンク（十噸用）、電気炉、液化氣使用具、防虫剤、防腐剤、遠心分離器、蒸溜水製造器、恒温槽、ミクロトーム、キモグラ

